



**基本方針Ⅱ：暮らしや活動のなかで生物多様性に取り組めます。**

**施策の方向性 7. ライフスタイルの改善**

**施策⑧：43万市民が少しずつ楽に取り組むことができる事例の提示**

◆趣旨

限られた1000人で10個のことに実践するより、43万人が一人おのの1個のことに実践する方が、一人の負担は小さいながらも大きな効果を生み出すことができることから、43万市民の誰もが、少しずつ楽に取り組むことができる事例の提示を行い、ライフスタイルの改善を促すことで、生物多様性の保全と持続可能な利用の実現を図ります。

◆取組内容（令和3年度～令和5年度）

- 私たちの暮らしが森・里・川・海などの多様な生態系に支えられて成り立っていることをわかりやすく伝え、自分の行動を振り返り考えてもらうため、一人ひとりの市民ができる行動を提示した事例集を作成します。

◆各主体に期待される役割と市の役割

関連する主体	役割
市民	事例集の実践
事業者	取組への理解・推進
大学などの研究機関	取組への助言
市民活動団体	取組への理解・推進
藤沢市	事例集の作成・広報

◆実行プランに位置づける藤沢市の目標設定

取組内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1. 事例集の作成	内容の検討	事例集の作成	普及啓発の実施

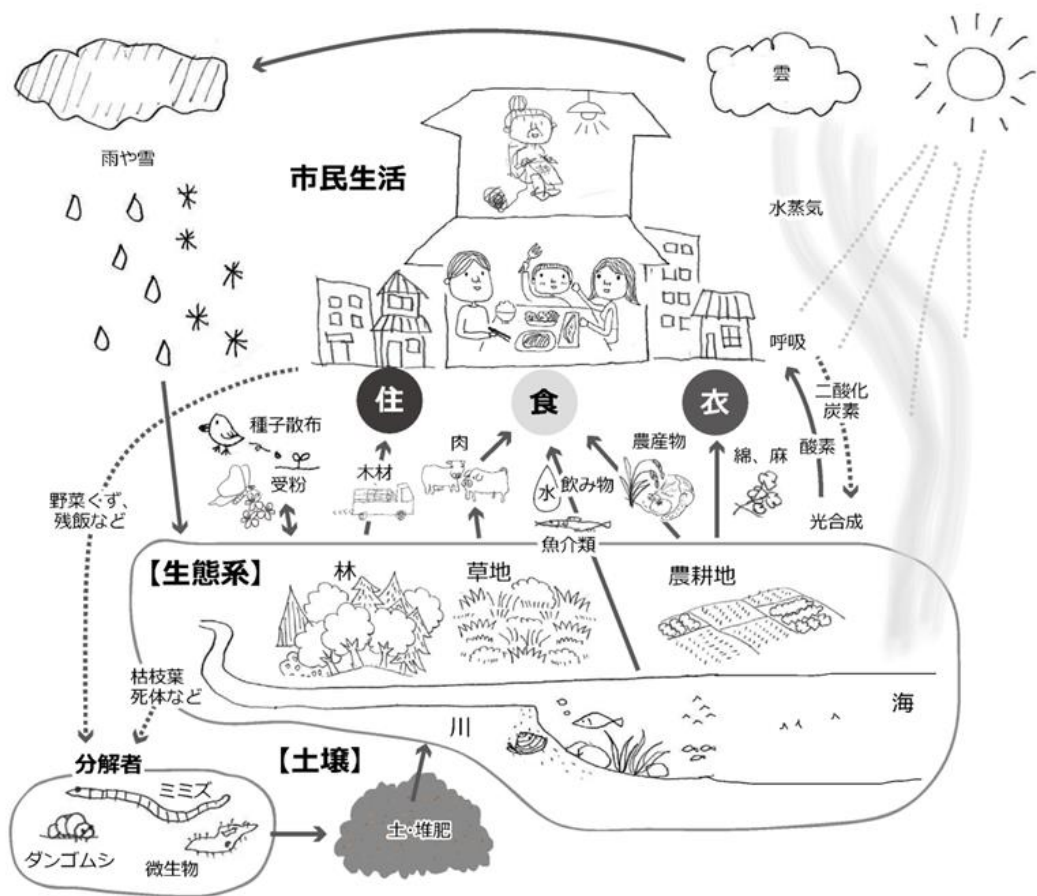
※ 他の施策と共通性の高いものについては、併せて実施する場合があります。

- ◆「藤沢市生物多様性地域戦略」の取組（独自事業）と既存計画関連の取組（関連事業）との連携を緊密に行うことで、「生物多様性への全ての影響（危機）」の回避を目指します。 ※2頁参照

◆「藤沢市生物多様性地域戦略」の取組（独自事業）

(1) 市民一人ひとりができる行動を示した事例集の作成

- 地球温暖化対策等と連動した取組事例や取組の普及について、事例集を検討・作成します。  
 (担当事業課：みどり保全課)  
 (関連事業課：環境総務課)



市民と生態系サービスとの関係／出典：藤沢市生物多様性地域戦略

人々が日々の暮らしの中に自然との『つながり』を感じ、生きていくうえで欠くことのできない生態系サービスを将来にわたり享受し続けることができるよう、その基盤となる生物多様性の保全と持続可能な利用に努める必要があります。